

北海道にて自動撮影装置によって撮影されたタヌキ



「しょうがないなあ」という人や物事というのは世の中に結構ある。それはべつに怒りや苛立ちを表すわけでもなく、はたまた溺愛を表すわけでもない。ただ、ちょっと苦笑しながら、ため息混じりにこぼす軽いもどかしさといったところだろうか。

私が以前研究していたタヌキは、このような「しょうがない」だらけでの生き物だった。彼らは分類上食肉目イヌ科に属しており、キツネなどと同じグループに属している。しかし、キツネに比べて進化が進んでおらず、体の仕組みや習性は旧式じみたところが見受けられる。文献にさえ、「足が短い、目が悪い、歯が進化していない、鈍くさい、ショックで気絶する」などと記述され、褒め言葉を見つけるのは難しい。鈍くささと気絶という習性のおかげで、タヌキの交通事故数は上位をキープしているし、足が短いため雪の中でもがいているタヌキを発見し、追いかけたら追い越してしまった友人の話も聞いたこともある。また、捕獲されたタヌキを見たときは、檻の奥で小さくなってこちらを暫く見ていた挙げ句、「バフ」と何

ある日のフィールド・ノートから

それぞれのそれなり

とも間の悪い鳴き声を発し、野性味あふれるダイナミズムのカケラも感じさせなかったこともある。こんな性分のためか「野生の王国」などには羽でも生えない限り出演はできないだろうと不憫に思うし、海外の文献には「絶滅していないことが不思議だ」ともある。では、なんでこんな地味なヤカラが未だやっていけるのだろう。いくつかの論文でその疑問に対する彼らなりの戦略が考えられている。イヌ科にしては多く子供を産むということ、食べ物やすみかに対して柔軟性が高くどんなどころでも生息できること、寒い地方では冬眠によってうまく冬越しをすること、などが挙げられている。しかし、要領の良さそうな冬眠というワザ

についても、暖冬の年には冬眠から覚めてしまい、エサがなくて死んでしまうという報告もあり、やや至らないところもあったりする。いずれにせよ、これらの戦略を駆使して彼らはなんとかうまくやってきた

たと考えられている。

世の中には個性的な生き物がたくさんいる。海の中で目立ちすぎではないかと心配になる奇抜な色や形をした魚、いつやってくるかもわからないエサをただ待っている食虫植物、まるで葉っぱのような模様の蝶...。「変ないきもの」、おそらく多くの人を感じるのだと思う。そこからさらに「なんであんな絶滅しないでやってこれたの?」と考えるのは面白い。その視点は時として突飛な形や生態をもっている生き物、もしくは珍しい生き物について投げかけられることが多い。しかし、そのへんにいる生き物についても、「なんであんな絶滅しないでやってこれたの?」とずこし考えてみることも、彼らなりの深さや歴史を考えるいい機会かもしれない。決して答えを知ることのみが目的ではなく。

(北海道支社自然環境研究室・古川泰人)

素朴な疑問やご感想など下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

E-mail :nl-info@chiikan.co.jp

編集後記

我が家の北側にはフェンスを隔てて高槻市の浄水場があります。「ウォータープラザ」と命名され、一般公開されています。敷地内には水路や池、雑木林があり、自宅にいながら季節を感じる事ができるのでお得だなというも感じています。桜の花が終わり、青々とした葉の隙間から木漏れ日が部屋の隅々にきらきらと反射して、お昼寝するには最高のロケーションです(しかもとても安上がり)。けれど、ある朝「やつら」はやってきます。時間的には朝の6時前後から、最初は1匹か2匹、可愛く「シャーシャー」、翌日から着実に仲間を増やし、8月お盆の頃には世界中のやつらが集結しているのではないかと思う位の勢いで「しゃあー!しゃあー!しゃあー!」と大合唱。そうです。クマゼミです。夏は目覚ましが必要ありません。その鳴き声の大きさをや、耳にとまっているのではないかと思う位です。毎朝強制的に起こされ必然的に夏バテです。「生き物と共生する」には時として忍耐も必要です。毎年忍耐の許容を越えるぎりぎりの頃、ツクツクハウシの鳴き声を聞き、心の中でクマゼミと夏に別れを告げ、一抹の寂しさと安堵を感じるのです。(中山 香代子)

News Letter NO.19 2003年8月

【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚敏  
 編集中山香代子・根本淳・鈴木志保子・釣谷佳子・高岡由紀子  
 東京本社 〒154-0015  
 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDS ビル  
 TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701  
 営業窓口...:鈴木志保子・根本淳・高岡由紀子  
 大阪支社 〒569-1123  
 大阪府高槻市芥川町1-15-18 ミドリ芥川ビル  
 TEL 072-684-3182 / FAX 072-684-3184  
 営業窓口.....中山香代子  
 北海道支社 〒001-0017  
 北海道札幌市北区北17条西5-20-303  
 サンオービル1F  
 TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021  
 営業窓口.....中島正雄  
 ホームページ :http://www.chiikan.co.jp/